



読み聞かせと昔の遊び（松原分校）

松原分校では、学校運営協議会委員であり学校支援ボランティアでもある方が、小学部と中学部の児童生徒に毎月1回読み聞かせと昔の遊びを教えておられます。子どもたちは、「あめかいゆうれい」と「せみくんがおよふくをきがえたら」の紙芝居を最後まで静かに聞いていました。その後、色紙を使ってセミを作りました。1匹目は折り方を教えてもらい、2匹目は作り方を思い出しながら一人で作りました。最後に目を入れて完成したセミを見て、「みんなでセミを作ってうれしかった」と振り返っていました。



選書会（厚陽小中学校）

子どもたちや保護者、地域の方がさまざまなジャンルの本の中から好きな本を選んで投票し、多いものから図書室の本になるという選書会が厚陽小中学校で開催されました。子どもたちは、これまでに見たこともない500冊もの新刊本を目にし、わくわくしながら次々に手にとって見たり、お気に入りの本に投票札をそっとはさんだりしていました。本の魅力が子どもたちの読みたい気持ちを高ぶらせているように感じられました。自分たちの選んだ本が図書館に並んだときの子どもたちの様子が、今から目に浮かんできます。



ほんものの科学体験講座（小野田中学校）

小野田中学校の3年生が、山口東京理科大学薬学部の『ほんものの科学体験講座』を受講しました。光を作ってみようをテーマに、蛍光ペンで描いた絵にブラックライトを当てて変化を観察したり、蛍光増白剤の入った洗剤を使って化学発光させたりしました。最後に、光を混ぜると他の色に変化するという実験もしました。簡単な実験を通して、身近な光について知らなかったことが分かったり、生活に応用されていることに感心したりと、生徒の興味関心が高まる学習になりました。大学の協力があってこそその貴重な体験でした。

